

令和2年度 先進地事例研修会

<研修の内容>

1 目的

県下の認定事業体が雇用する森林整備担い手数は、昨今の有効求人倍率の上昇とともに減少傾向に歯止めがかからず、新規の雇用者についても非常に反応が鈍い状況が続いている。

このような中、福利厚生を充実させるなどして離職の防止や新規雇用を進めている広域森林組合が近隣にあることから、今回、この組合を研修することとする。

また、県下認定事業体の主な事業を見ると、国、県、市町等からの受託事業が主体であり、これらからの発注は今後減少に転じるものと危惧されている。このような中、上記組合では、従来の国、県等からの受託から組合員等森林所有者からの受託にシフトし、主伐皆伐も積極的に展開していることから、この森林組合について研修し、本県の今後の事業展開の参考とする。また、県下の認定事業体の中で、高性能林業機械の創世期から積極的に機械化による労働強度の低減に取組み、高い素材生産性を維持している事業体を研修することとする。

2 研修先

(1) 「長崎南部森林組合」

- ・ 法人の所在 長崎県大村市大川田町990-1
- ・ 法人の特徴 事業の中心に組合員等森林所有者からの受託造林を据える。機械化の推進による木材生産の低コスト化に努めている。
- ・ 研修内容 現場従事者の雇用管理改善の取組、機械化の現状及び主伐皆伐への取組の状況など。

(2) 「株式会社西部林業」

- ・ 法人の所在 嬉野市嬉野町大字下野丙1991-ロ
- ・ 法人の特徴 機械化と高い素材生産性を維持している。
- ・ 研修内容 国有林受託事業における機械化の推進と素材生産性の追求など

3 研修日

令和2年12月10日(木)～11日(金) (1泊2日)

- ・ 12月10日(木) 「長崎南部森林組合」
- ・ 12月11日(金) 「株式会社西部林業」